

掲載記事の抜粋



**今冬に横取り架設**  
 あゆみ橋延伸整備(上部工)工事 東骨・高田JV  
 監理技術者(東京鐵骨橋梁工事部部長) 佐々木久行氏  
 延伸部の3分の2を直接架設工法で進めている。補剛桁架設は計画通り順調に進み、現在準備中の上弦材架設が益明けに最盛期を迎える予定だ。



佐々木部長

今冬に予定する残り3分の1の横取り架設は、直接架設部との仕口合わせが課題となる。延伸部と既存2径間との間隔が約150mのため、XYZ(縦横、高さ)軸で対応できる特殊ジャッキを活用した架設を計画 중이다。上弦材架設では、吊金具を用いずに大部分でナイロンスリングベルトを活用し、出来形的美観を保つことに配慮している。今後も安全作業を心掛け、地元要望の1日も早い供用を目指し、工事を進めていきたい。



あゆみ橋全景 (7月21日撮影)

奥に見える既存2径間は、塗替え工事が進んでいる。下には一級河川の相模川が流れる。手前が延伸部で3分の2まで架設が進んだ補剛桁。左側に通る迂回路建設も東骨JVが行った。

あゆみ橋 事業概要図

